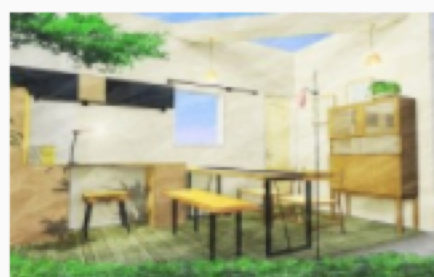


ホーム > 岡山エリア > 主要 > 8日から東京で津山圏域の家具展 コーディネーターと初コラボ

8日から東京で津山圏域の家具展 コーディネーターと初コラボ

[シェア](#) [ツイート](#)

津山圏域の家具メーカーや木工職人が手掛けた家具や建材を紹介する展示会「For Good 津山展」が8～10日、東京・西新宿の新宿パークタワーで開かれる。3回目の今回は初めて、岡山県内のインテリアコーディネーター9人とコラボレーションしたオリジナル家具を製作した。互いの視点を生かした机やいすで首都圏での認知度アップを狙う。



「2人暮らしで共働きしている若い夫婦」を想定した部屋のイメージ図

展示会は、津山市地域雇用創造協議会（山下）が2015年度から毎年開催。コラボは、展示会に興味を持ったインテリアコーディネーター今田百春さん（51）＝岡山市北区＝が仲間と一緒に、協議会主催の林業、木工メーカーの紹介ツアーに参加し、“意気投合”したのをきっかけに、今田さんが所属する日本インテリアコーディネーター協会（東京）との共催が実現した。

今回出展するのは、イマガワ（津山市押入）▽KITAWORKS（高野本郷）▽すえ木工（八出）▽津山銘木（一方）▽ヨネモノ（国分寺）▽玩具工房コースケ（奈義町柿）▽アーツ&クラフツビレッジ（美咲町中）の7社。会場にはテーブルやキャビネット、インテリア小物など計約250点が並ぶ。

このうち、9点はインテリアコーディネーターが津山圏域の豊かな自然に着想を得て出展企業などに依頼した家具。「2人暮らしで共働きしている若い夫婦」「娘を持つ30代後半～40代の家族」という想定の下、県産ヒノキ材を中心に丸太の素材感を生かしたテーブルやスツール、自宅で働く人が仕事相手と自宅で打ち合わせをする際に掃除機を隠せる収納、県郷土伝統的工芸品の横野和紙を用いた照明などを製作した。

これらは、会場の「se・i・re・n（セイレン）津山テイスト」と名付けた住空間を提案する展示コーナーで、出展企業の既製品など約90点とともに並べる。

今田さんは「津山地域の職人の仕事は丁寧でこだわりが感じられ、愛着の湧く製品が多い。東京では木や木製品を使った暮らしが見直されており、岡山のインテリアコーディネーターとして後押ししたい」と話している。

問い合わせは同協議会（0868-24-3633）。

（2018年02月07日 12時49分 更新）

[My記事保存](#)